Vol.98　実戦を想定した際の演奏を考えてみる　～その 8～

では、『10 分トレ』vol.98、始めていきましょう。

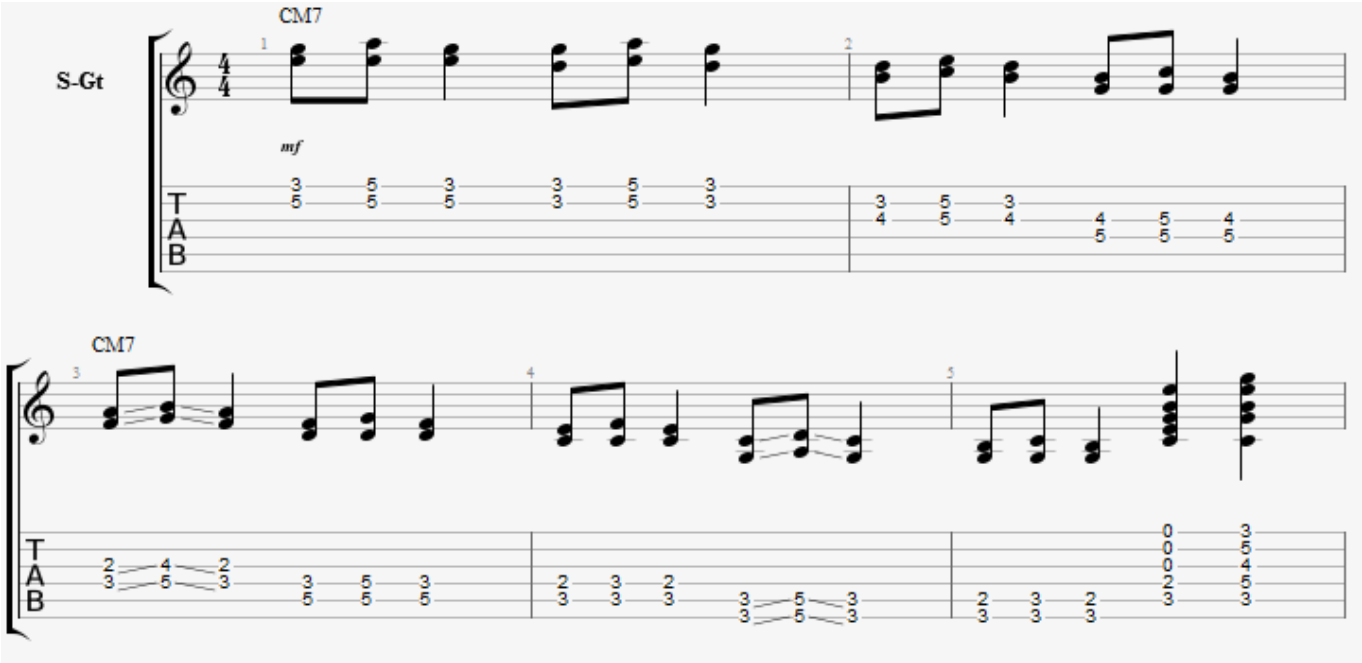
今回は、vol.96&97 の時 X7 でやった様に、XM7 と Xm7 のコードでのフレーズのネタを考えてみましょう。

やはり基本的には、各種ヴォイシングをベースに見ていくのが分かりやすいですね。

コードは CM7 と Am7 に設定しましょうか。譜例を作ってみたら量が多くなったので 2 回に分けたいと思います。

では、今回の譜例は以下になります。

譜例 1、CM7、フレーズ例、5 弦ルート



基本的にはダブルストップを見ていますが、これらの音の配置が分かっていると、単音でも、2 音以上の複音でもフレーズを作ることが出来ます。

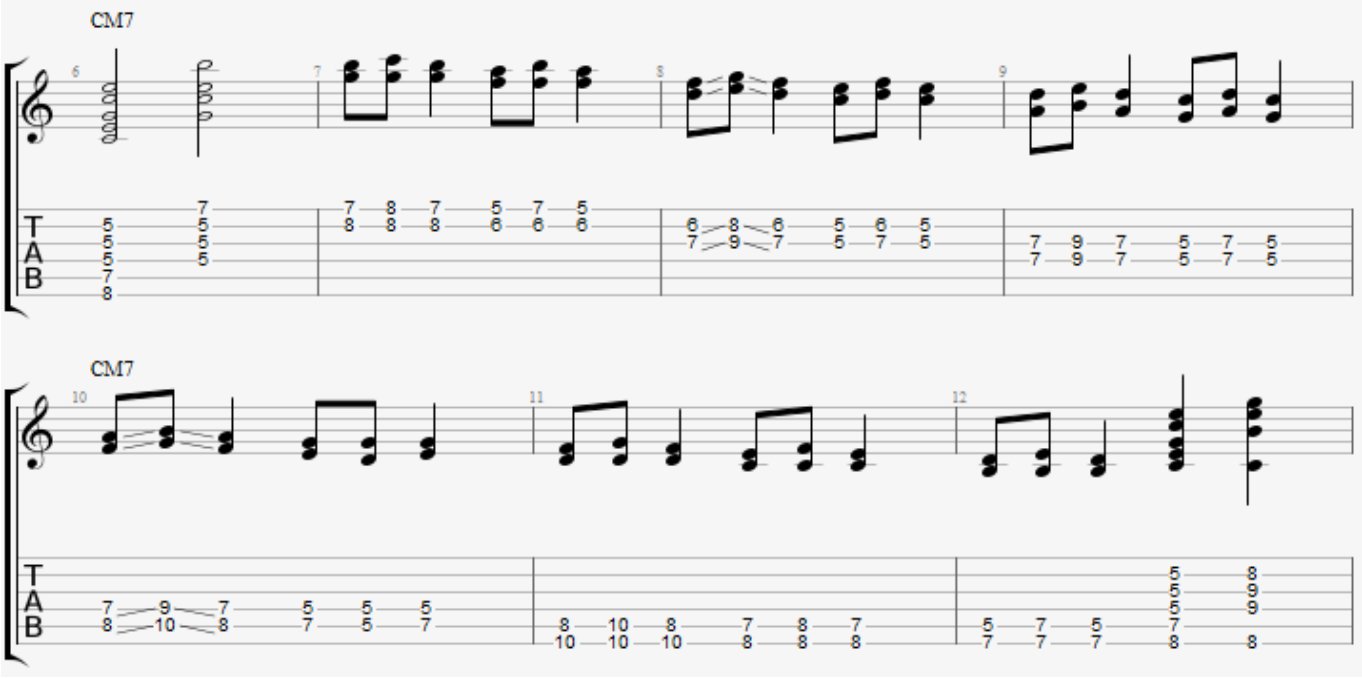
この譜例の場合は P4th を含んでいるので、Ⅰ M7 にあたるコード上での動きですね。
(key=C なら CM7)

もし、ダイアトニックコード内に存在する、もう一つの XM7 である、Ⅳ M7 のヴォイシング上でこう言った事をやる場合は、4 度を♯11th に変えて配置を見てみて下さい。

続いて 6 弦ルートの方も見ていきましょう。

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved

譜例 2、CM7、フレーズ例、6 弦ルート



ここでは、6 弦上のルート音から主にヘッド側に配置を見ていますが、逆のブリッジ側に展開することも可能です。(※過去のテキストでも近い事をやっていますね)

音の組み合わせや動かし方、展開の仕方は、譜例に固執する必要はありませんので、自由にフレーズを作ってみて下さい。

もちろん CM7 だけでは無く、他のダイアトニックコードのヴォイシング内を動かしている、と考えても OK です。

では、今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved